

図1-10-8 性に関する事柄を知るべき時期-“エイズ以外の性感染症とその予防”

(性別、性・年齢別)

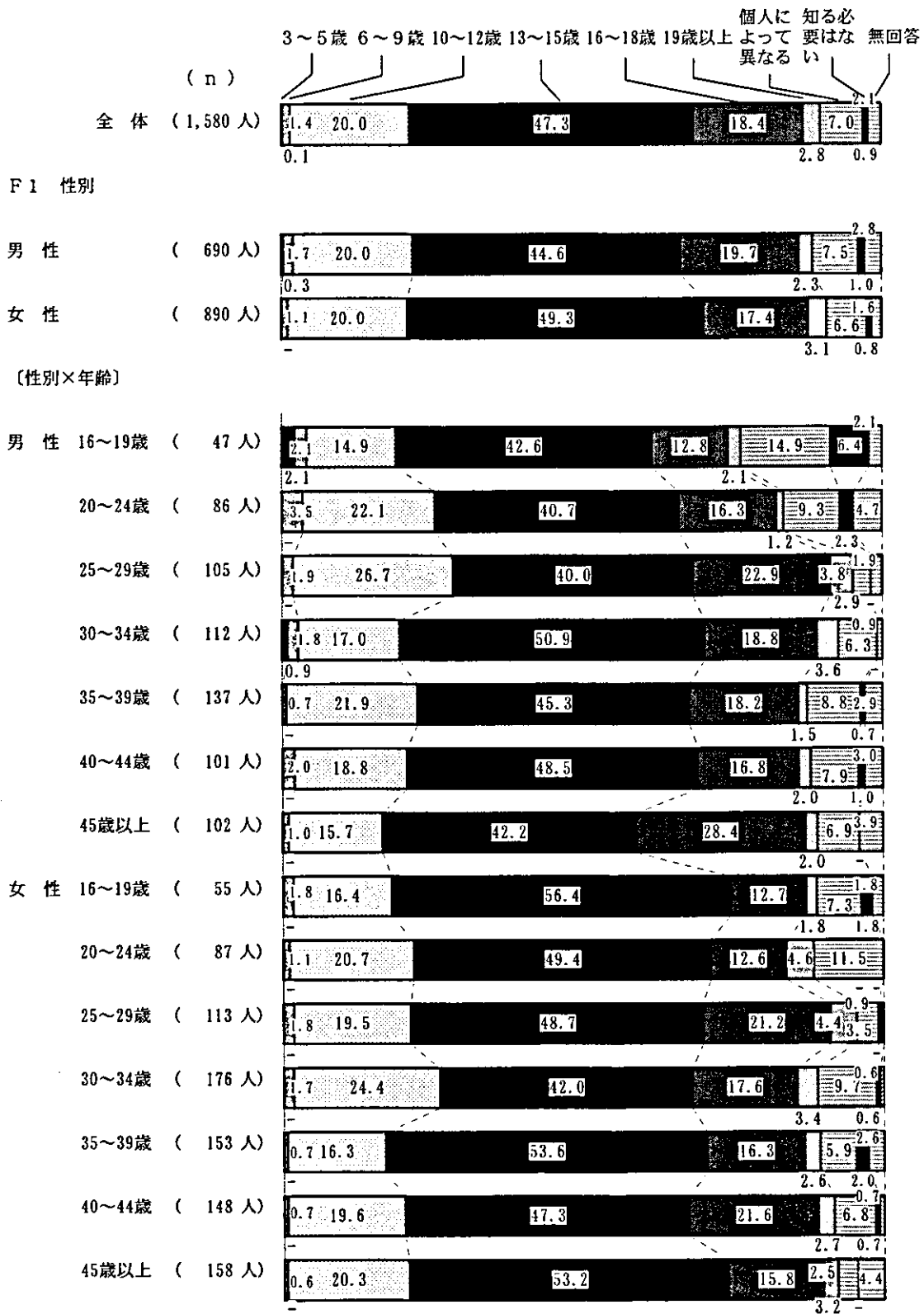
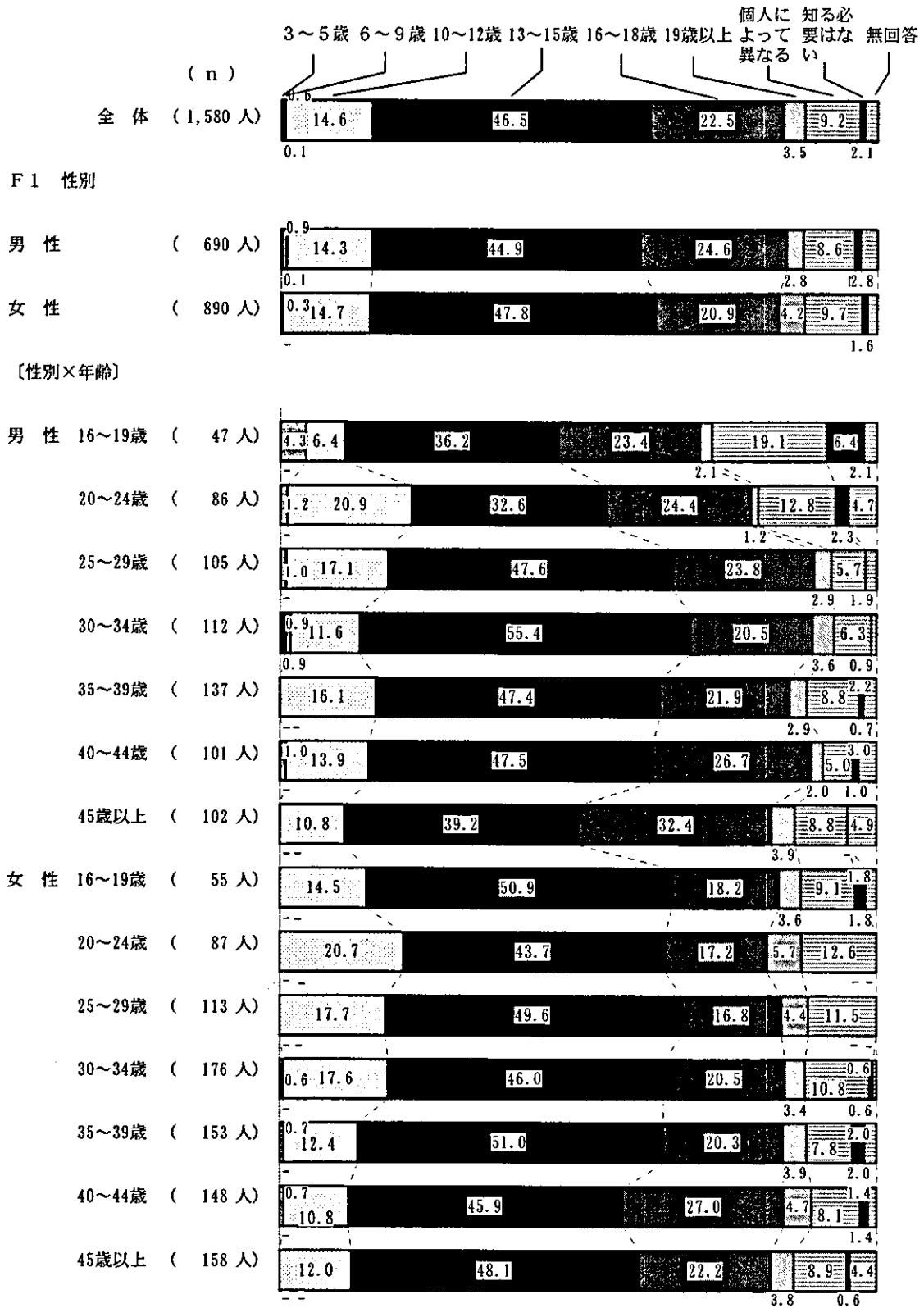


図1-10-9 性に関する事柄を知るべき時期-“コンドームの使い方”

(性別、性・年齢別)



“多様な性のあり方(同性愛、性的指向、性同一性障害等)”について知るべき時期を性別にみても(図1-10-10)、差はみられない。

性・年齢別にみると(図1-10-10)、女性の25~29歳で中学生にあたる「13~15歳」(46.0%)に知るべきだと考える者が、他の性・年齢層よりやや多くなっている。

“性的被害(レイプや性暴力など)の対処法”を知るべき時期についても、性別には差がみられない(図1-10-11)。

また、性・年齢別にみると(図1-10-11)、女性の35~39歳では、中学生にあたる「13~15歳」に知るべきだと感じている者が47.1%で、やや多くなっている。

“男女間の平等や助け合い”を知るべき時期を性別にみると(図1-10-12)、小学校高学年にあたる「10~12歳」(男性33.3%、女性27.0%)に知るべきであるとする者は、女性より男性にやや多く、女性の方がより低年齢に知るべきであるとする者がやや多くなっている。

性・年齢別にみると(図1-10-12)、女性の20~24歳と35~39歳で未就学の「3~5歳」もしくは小学校低学年にあたる「6~9歳」と答えた、低年齢で知るべきだと考える者がやや多くなっている。

“結婚”について性別にみても(図1-10-13)、差はみられない。

性・年齢別にみると(図1-10-13)、男性の45歳以上の年齢層で中学生にあたる「13~15歳」に知るべきであるとする者が3割以上と、他の性・年齢層より多くなっている。

“離婚”を知る時期についても、性別による差はみられない(図1-10-14)。

性・年齢別にみると(図1-10-14)、20~24歳の女性で高校生にあたる「16~18歳」(26.4%)に知るべきであると答える者が3割弱である。

“人と人とのコミュニケーション(関わり方)”を知るべき時期を性別にみると(図1-10-15)、小学校高学年にあたる「10~12歳」(男性30.9%、女性25.5%)に知るべきであるとする者は、女性より男性に多くなっている。一方、女性では、未就学の「3~5歳」(同8.7%、16.2%)もしくは小学校低学年にあたる「6~9歳」(同19.7%、22.4%)と答えた、低年齢で知るべきだと考える者が、男性より多くなっている。

性・年齢別にみると(図1-10-15)、「10~12歳」で知るべきであるとする者は男性の40~44歳(35.6%)と25~29歳(35.2%)で特に多くなっている。一方、未就学の「3~5歳」で知るべきであるとする者は、女性の20~24歳(18.4%)と30~34歳(17.6%)の年齢層で2割弱と、やや多くなっている。

最後に、“性に関する倫理や道徳”を知るべき時期については、性別による差はみられない(図1-10-16)。

性・年齢別にみると(図1-10-16)、該当数は少ないが女性の16~19歳では、その前の年代である中学生にあたる「13~15歳」(47.3%)に知るべきであるとする者が半数近い。また、女性の20~24歳では2割弱が「個人によって異なる」(17.2%)と答えている。

図1-10-10 性に関する事柄を知るべき時期

— “多様な性のあり方(同性愛, 性的指向, 性同一性障害等)” (性別、性・年齢別)

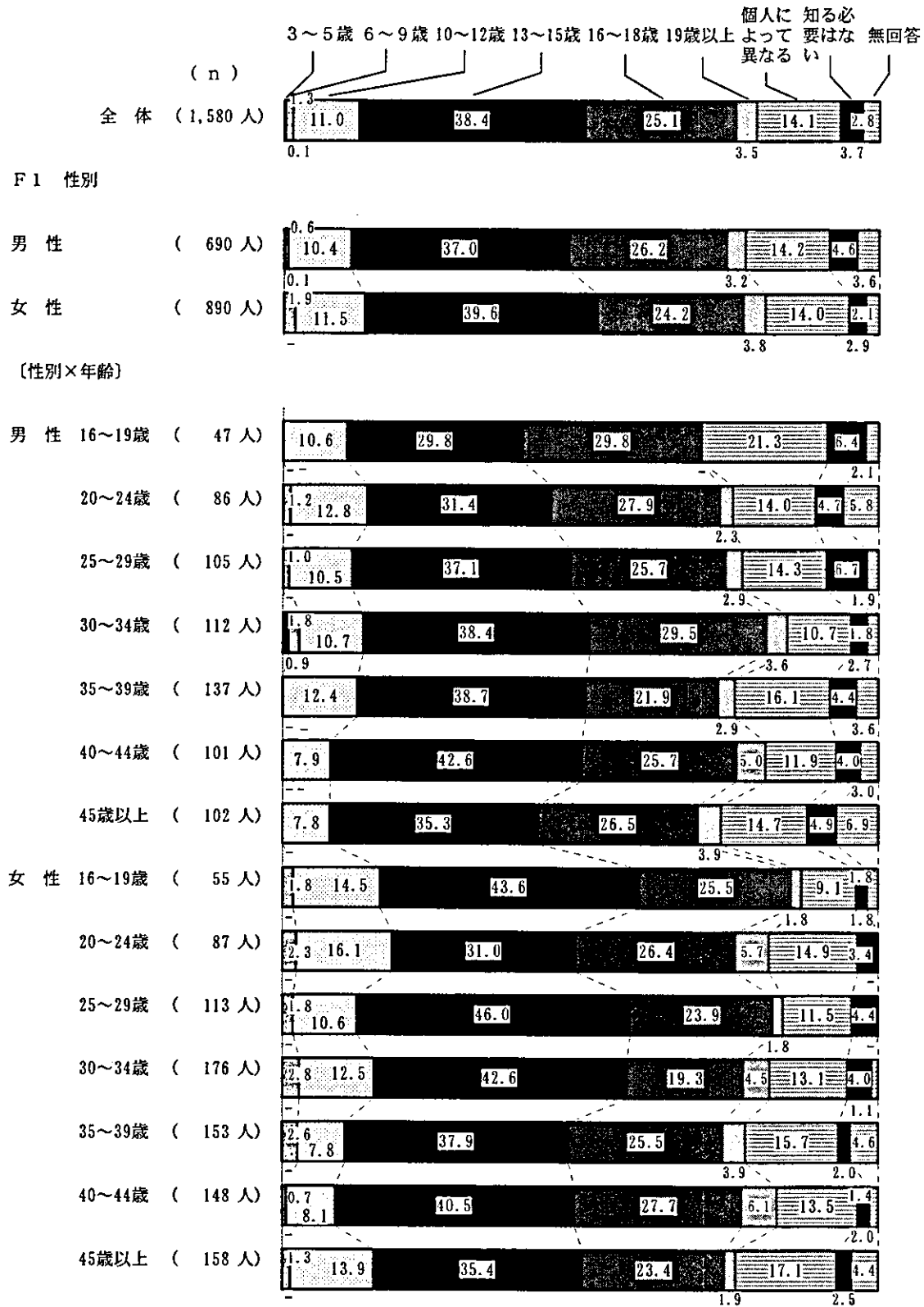


図1-10-11 性に関する事柄を知るべき時期

- “性的被害（レイプや性暴力など）の対処法”（性別、性・年齢別）

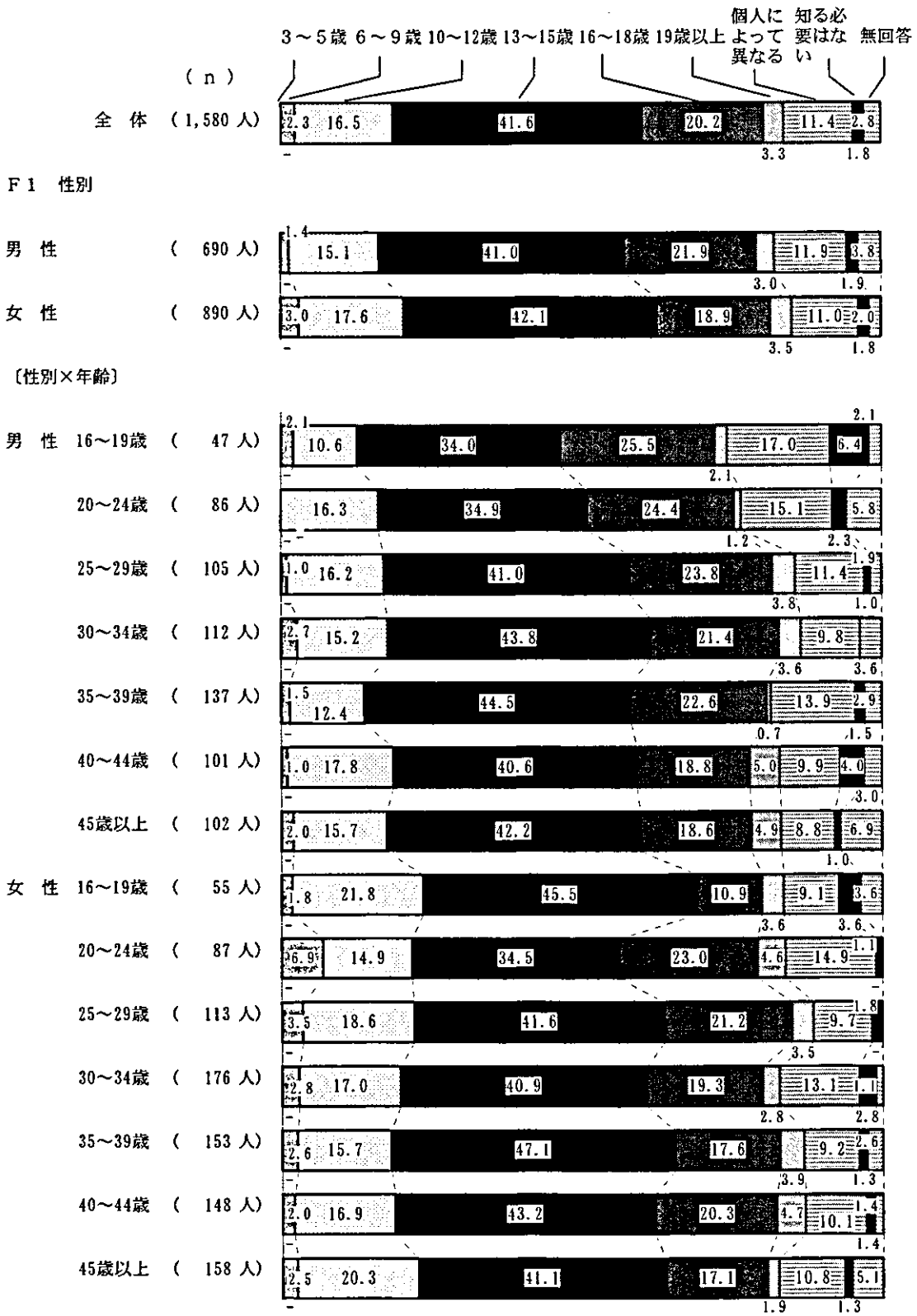


図1-10-12 性に関する事柄を知るべき時期-“男女間の平等や助け合い”

(性別、性・年齢別)

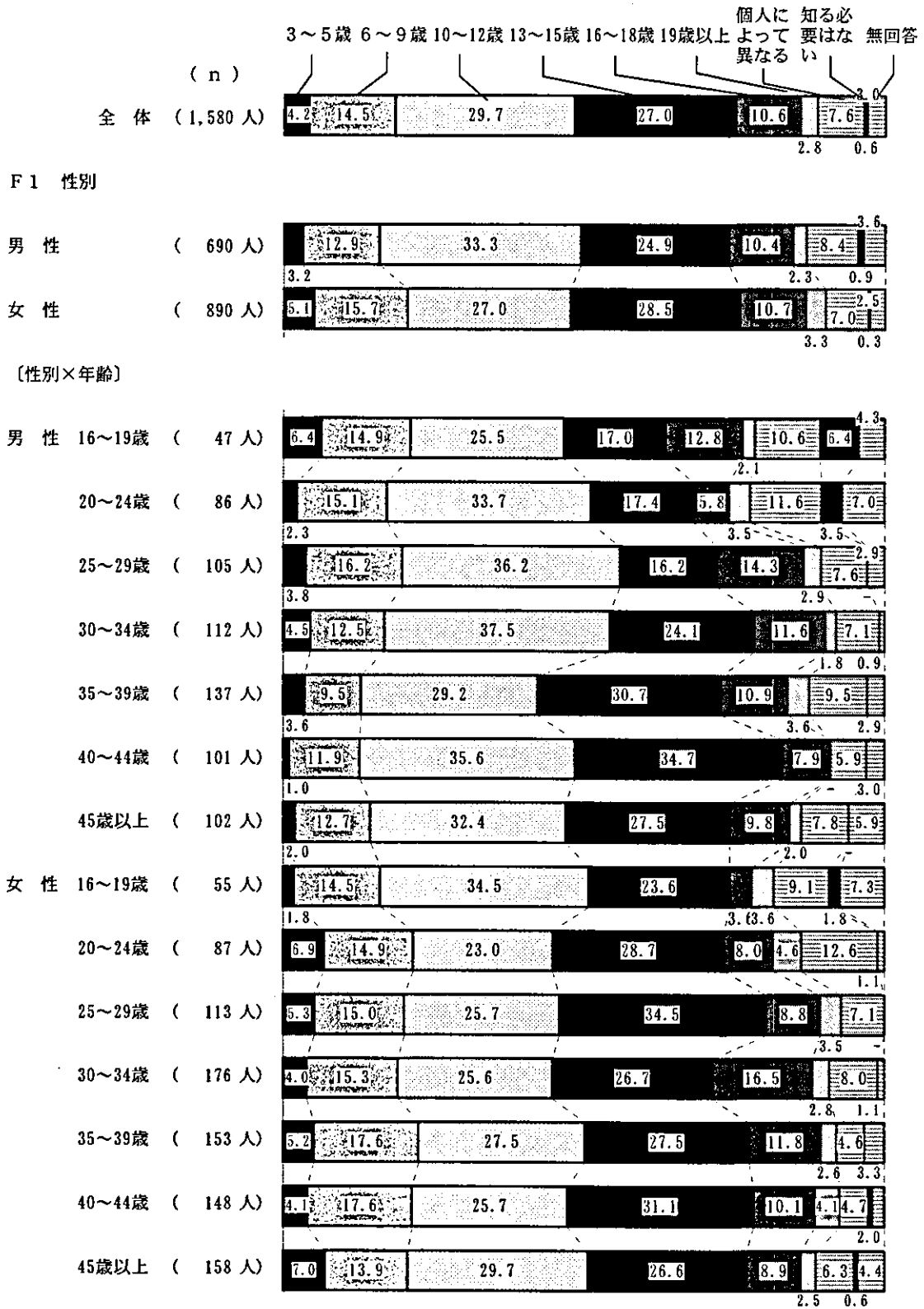


図1-10-13 性に関する事柄を知るべき時期-“結婚”(性別、性・年齢別)

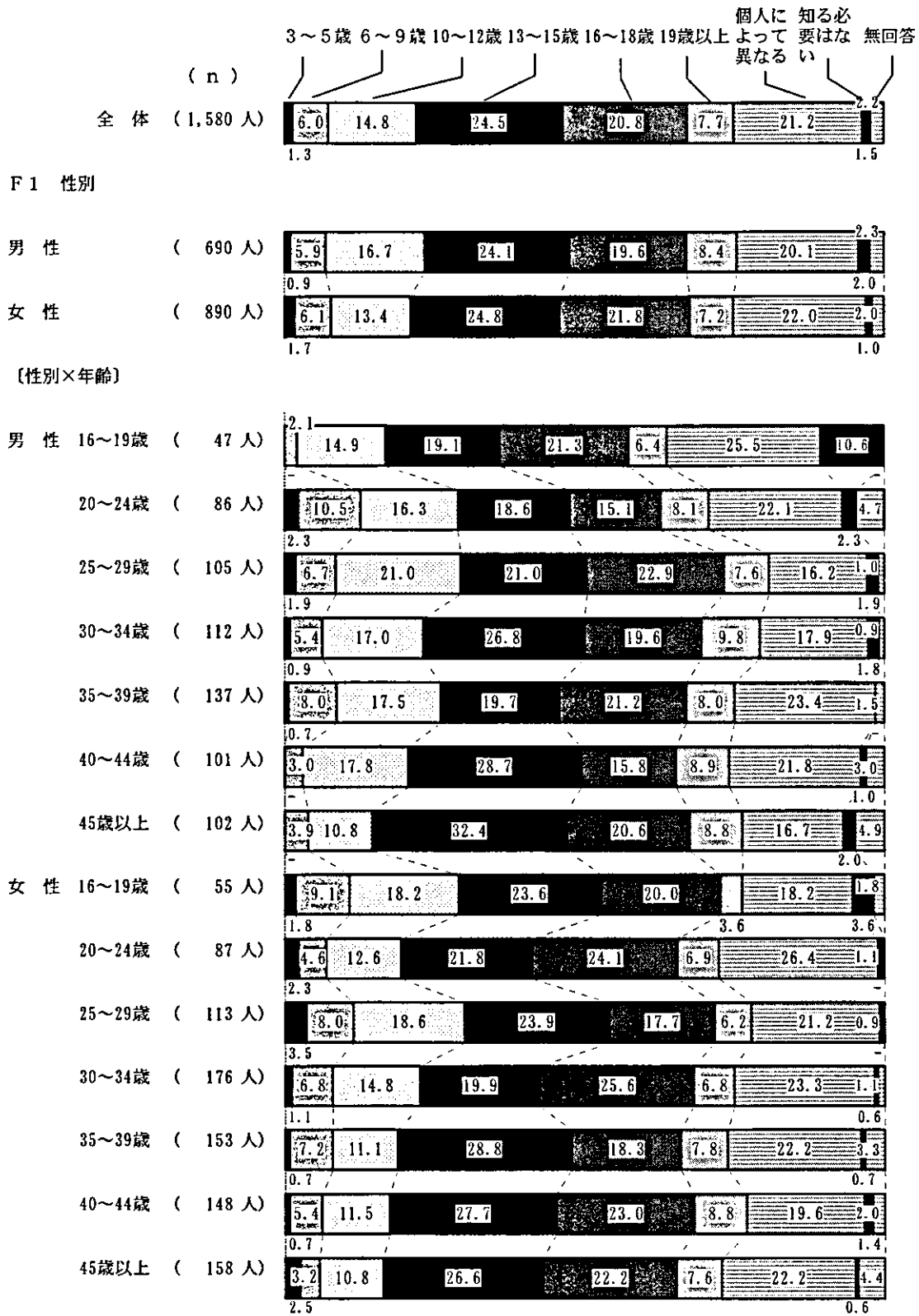


図1-10-14 性に関する事柄を知るべき時期-“離婚”(性別、性・年齢別)

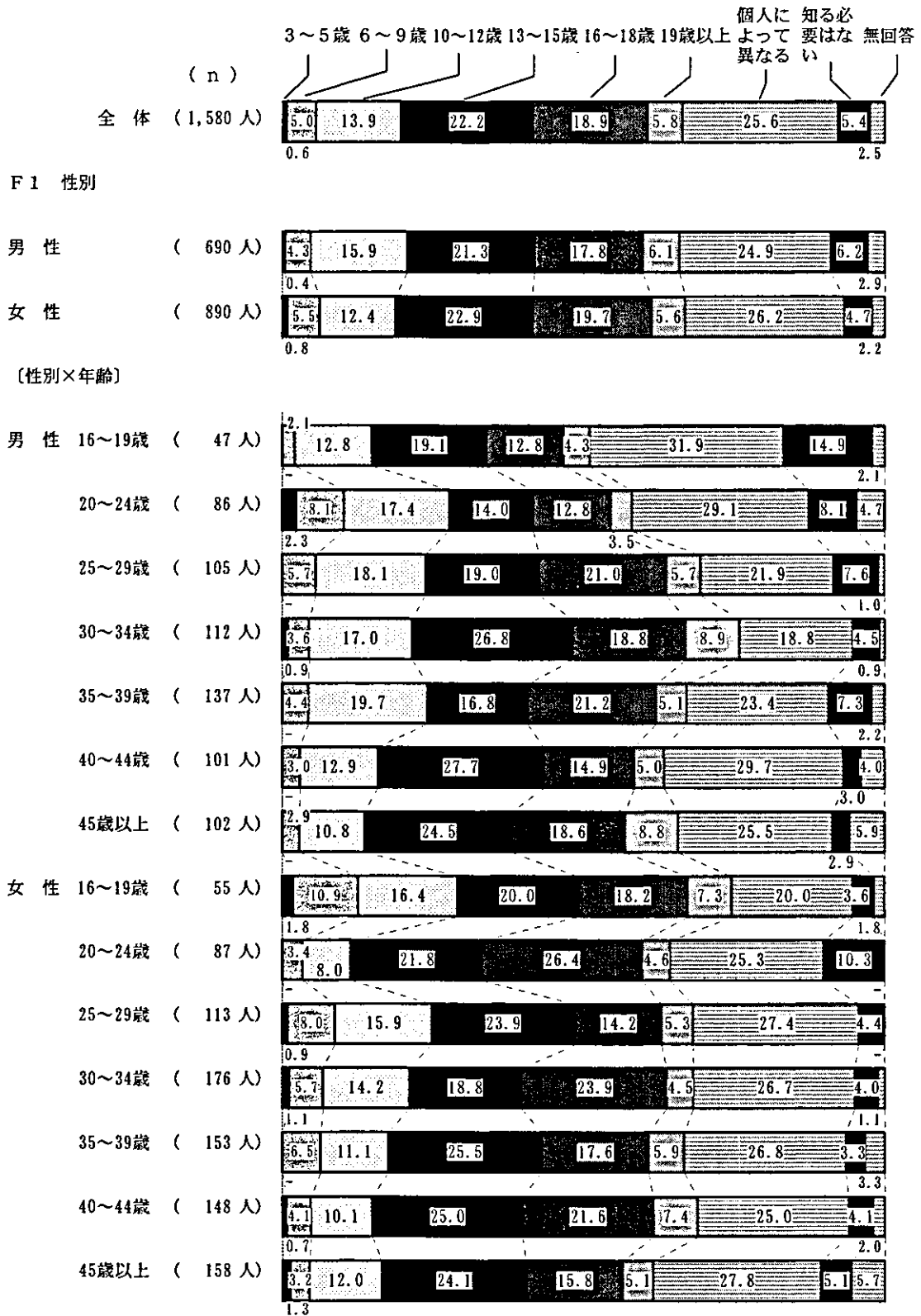
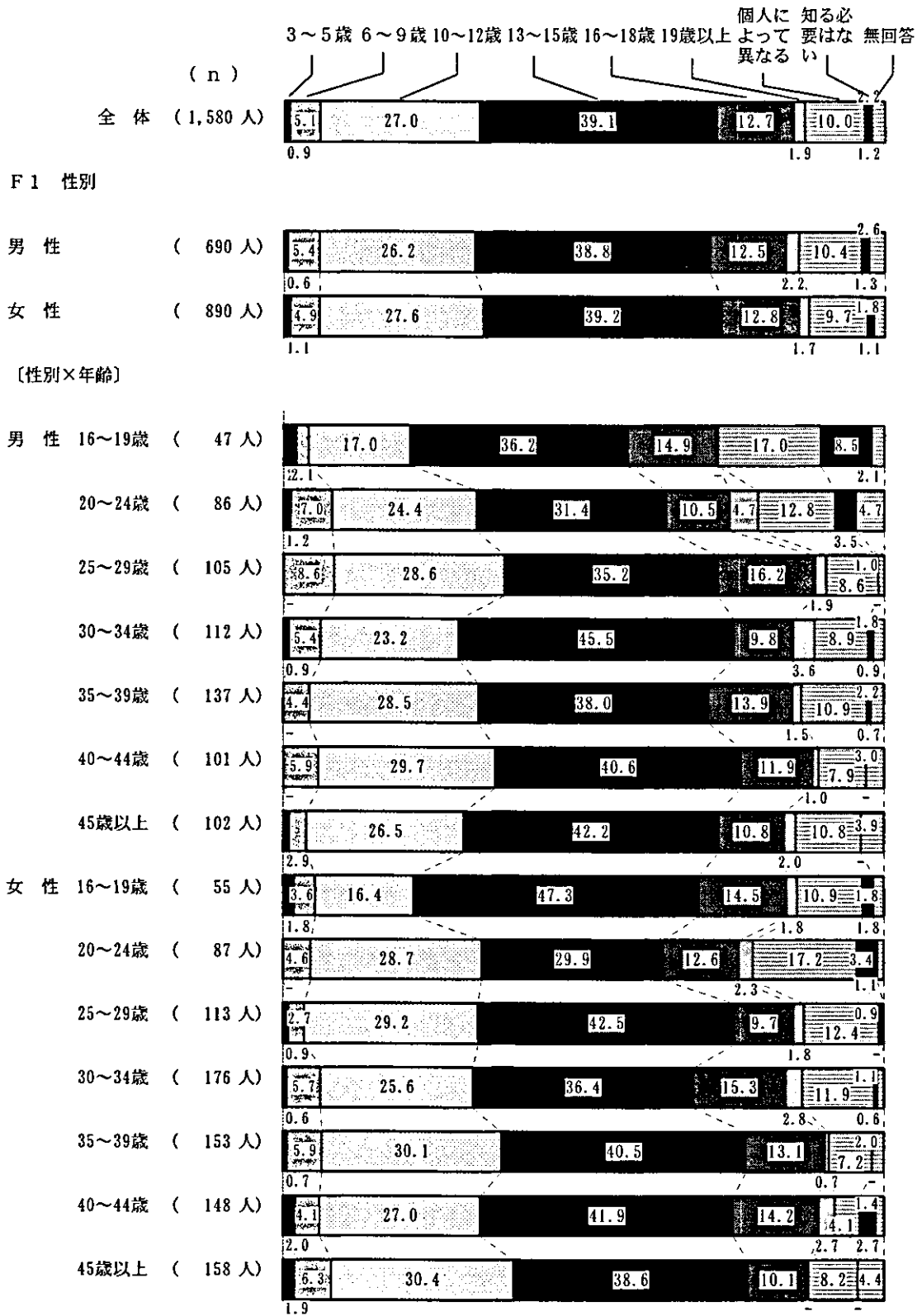


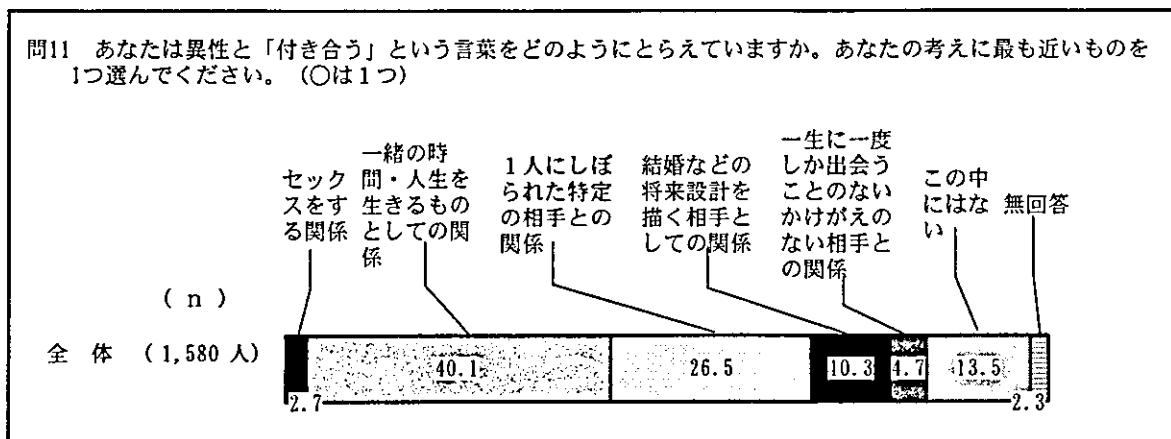
図1-10-16 性に関する事柄を知るべき時期

- “性に関する倫理や道徳” (性別、性・年齢別)



第2章 男女の関係性についての意識

1 異性と「付き合う」ということ



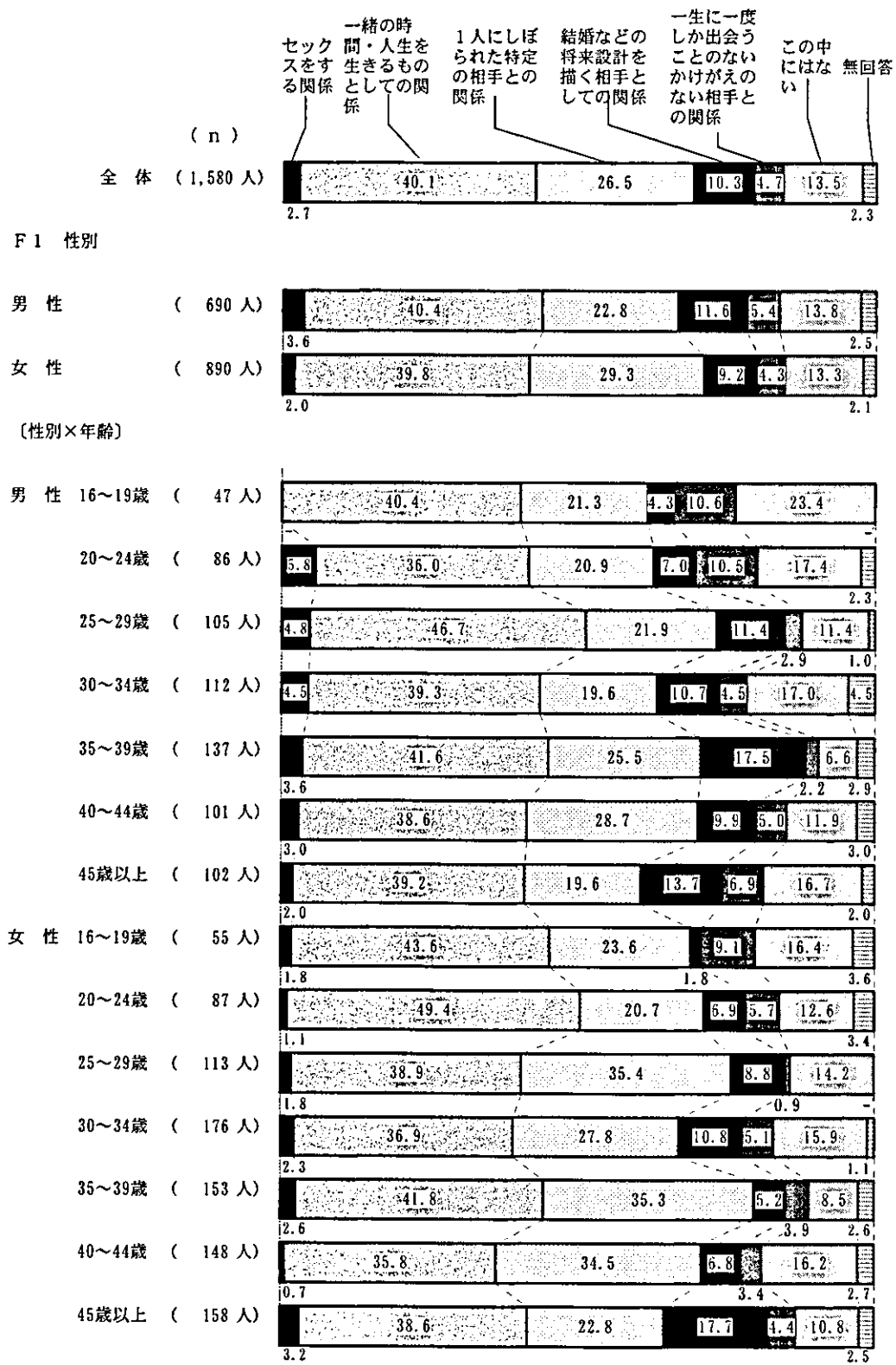
異性と“付き合う”という言葉のとらえ方を聞いたところ、「一緒に時間・人生を生きるものとしての関係」という者が40.1%で最も多く、次いで「1人にしぼられた特定の相手との関係」(26.5%)であると考える者が3割弱である。

性別にみると(図2-1-1)、男女とも「一緒に時間・人生を生きるものとしての関係」(男性40.4%、女性39.8%)という者が4割で最も多く、次いで「1人にしぼられた特定の相手との関係」(同22.8%、29.3%)となっているが、男性よりも女性が7ポイント多くなっている。

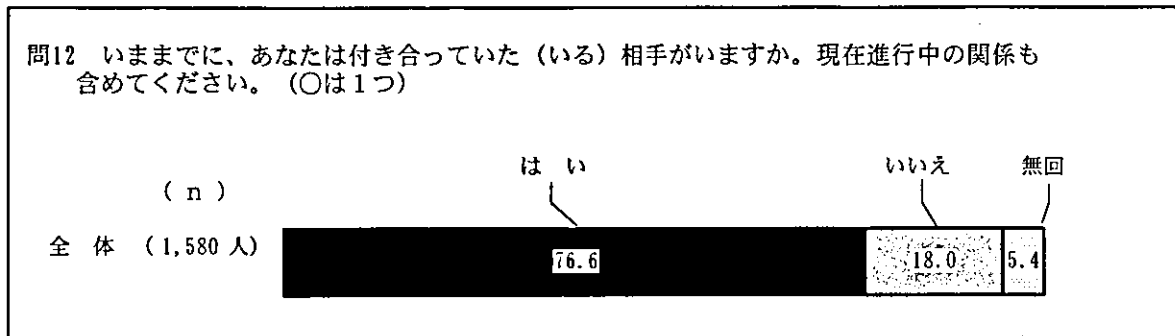
性・年齢別にみると(図2-1-1)、異性と“付き合う”ということは、「一緒に時間・人生を生きるものとしての関係」であると考える者は男性の25~29歳(46.7%)と女性の20~24歳(49.4%)で5割近くなっている。

「1人にしぼられた特定の相手との関係」という者は、女性の25~29歳(35.4%)と35~39歳(35.3%)、40~44歳(34.5%)で3割を超えている。また、「結婚などの将来設計を描く相手としての関係」であるという者は、男性の35~39歳(17.5%)と女性の45歳以上(17.7%)で2割近くなっている。

図2-1-1 異性と「付き合う」ということ（性別、性・年齢別）



2 これまでに付き合っていた相手の有無

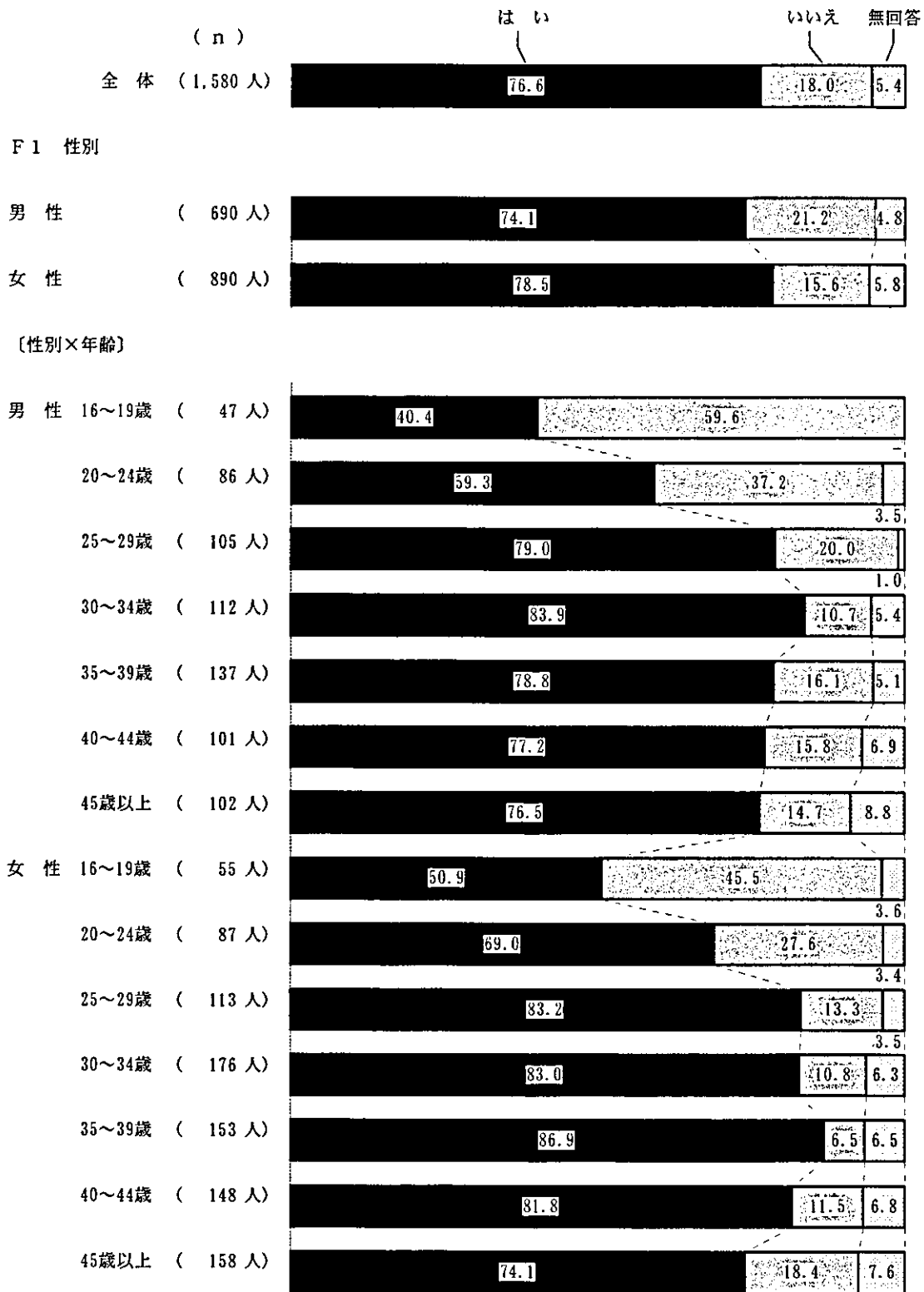


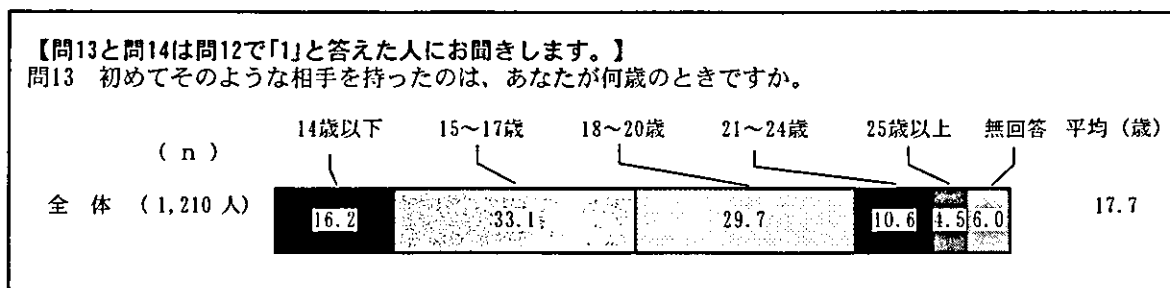
現在進行中の関係も含めて、いままでに付き合っていた（いる）相手がいるかを聞いたところ、「はい」と答えた、付き合った経験のある者は 76.6%を占め、経験のない者（「いいえ」18.0%）は 2 割弱である。

性別にみると（図 2-2-1）、「はい」（男性 74.1%、女性 78.5%）と答えた、付き合った経験のある者は女性が 8 割近くになっており、男性を 4 ポイント上回っている。

性・年齢別にみると（図 2-2-1）、これまでに付き合った経験のある者（「はい」）は、女性の 35～39 歳（86.9%）で 9 割近くになっている。一方、男性の 20～24 歳では「いいえ」（37.2%）と答えた、女性と付き合った経験のない者が 4 割弱である。

図2-2-1 これまでに付き合っていた相手の有無（性別、性・年齢別）





これまでに異性と付き合いがあったことがある者 (1,210 人) に初めてそのような相手を持った時の年齢を聞いたところ、「15～17 歳」 (33.1%) という者が 3 人に 1 人の割合で最も多く、次いで「18～20 歳」 (29.7%) が 3 割となっている。

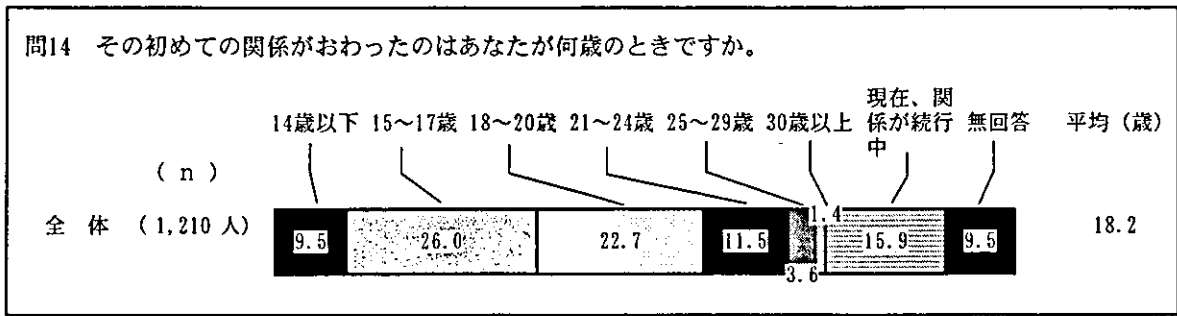
平均すると、17.7 歳である。

性別にみると (図 2-2-2)、初めて異性と付き合いしたのは「18～20 歳」 (男性 26.8%、女性 31.8%) という者は男性より女性に、「14 歳以下」 (同 19.2%、14.0%) という者は女性より男性に、それぞれやや多くなっているが、平均するとともに 17.7 歳と男女差はない。

性・年齢別にみると (図 2-2-2)、男性の 40 歳以上の年齢層では、初めて異性と付き合いのが「25 歳以上」 (40～44 歳 12.8%、45 歳以上 11.5%) であるという者が 1 割強である。

図2-2-2 初めて異性と付き合った年齢（性別、性・年齢別）

	(n)	14歳以下	15~17歳	18~20歳	21~24歳	25歳以上	無回答	平均(歳)
全体	(1,210人)	16.2	33.1	29.7	10.6	4.5	6.0	17.7
F1 性別								
男性	(511人)	19.2	31.9	26.8	10.4	5.1	6.7	17.7
女性	(699人)	14.0	34.0	31.8	10.7	4.0	5.4	17.7
〔性別×年齢〕								
男性 16~19歳	(19人)	36.8		52.6		10.5		14.8
20~24歳	(51人)	23.5		47.1		21.6	3.9	16.4
25~29歳	(83人)	24.1		30.1		3.6	8.4	16.8
30~34歳	(94人)	21.3		33.0		6.4	5.3	16.9
35~39歳	(108人)	13.9		31.5		29.6	17.6	17.9
40~44歳	(78人)	12.8		30.8		20.5	15.4	19.5
45歳以上	(78人)	17.9		19.2		29.5	14.1	19.0
女性 16~19歳	(28人)	39.3		46.4		14.3		15.0
20~24歳	(60人)	15.0		43.3		35.0	5.0	16.8
25~29歳	(94人)	18.1		33.0		35.1	9.6	17.3
30~34歳	(146人)	13.7		36.3		25.3	15.1	17.8
35~39歳	(133人)	15.0		33.1		33.1	7.5	17.8
40~44歳	(121人)	9.9		33.9		32.2	13.2	17.9
45歳以上	(117人)	7.7		25.6		37.6	12.8	19.0



これまでに異性と付き合いがあったことがある者 (1,210 人) に初めての関係が終わった時の年齢を聞いたところ、「15~17歳」が26.0%で最も多く、次いで「18~20歳」(22.7%)が2割強となっていて「現在、関係が続行中」という者は15.9%いた。

平均すると、初めての関係が終わった年齢は18.2歳である。

性別にみると(図2-2-3)、「現在、関係が続行中」(男性12.7%、女性18.2%)という者は男性より女性に多くなっている。

平均すると男性18.0歳、女性18.4歳である。

性・年齢別にみると(図2-2-3)、女性の45歳以上の年齢層で「現在、関係が続行中」(31.6%)という者が3割を上回っている。

初めての関係が続いた期間としては「1年」(52.0%)が過半数で、平均すると1.3年となっている(図2-2-4)。

初めての関係が現在も続いているという者は15.9%である。

性別にみると(図2-2-4)、初めての関係が続いた期間は「1年」(男性57.3%、女性48.1%)という者は男性で6割弱と、女性を9ポイント上回っており、平均すると男性1.2年、女性1.5年となっている。

性・年齢別にみると(図2-2-4)、男女とも若年齢ほど「1年」という者が多くなっている。一方、女性の45歳以上の年齢層では、関係が「継続中」(31.6%)である者が3割強である。

図2-2-3 初めての関係が終わった年齢（性別、性・年齢別）

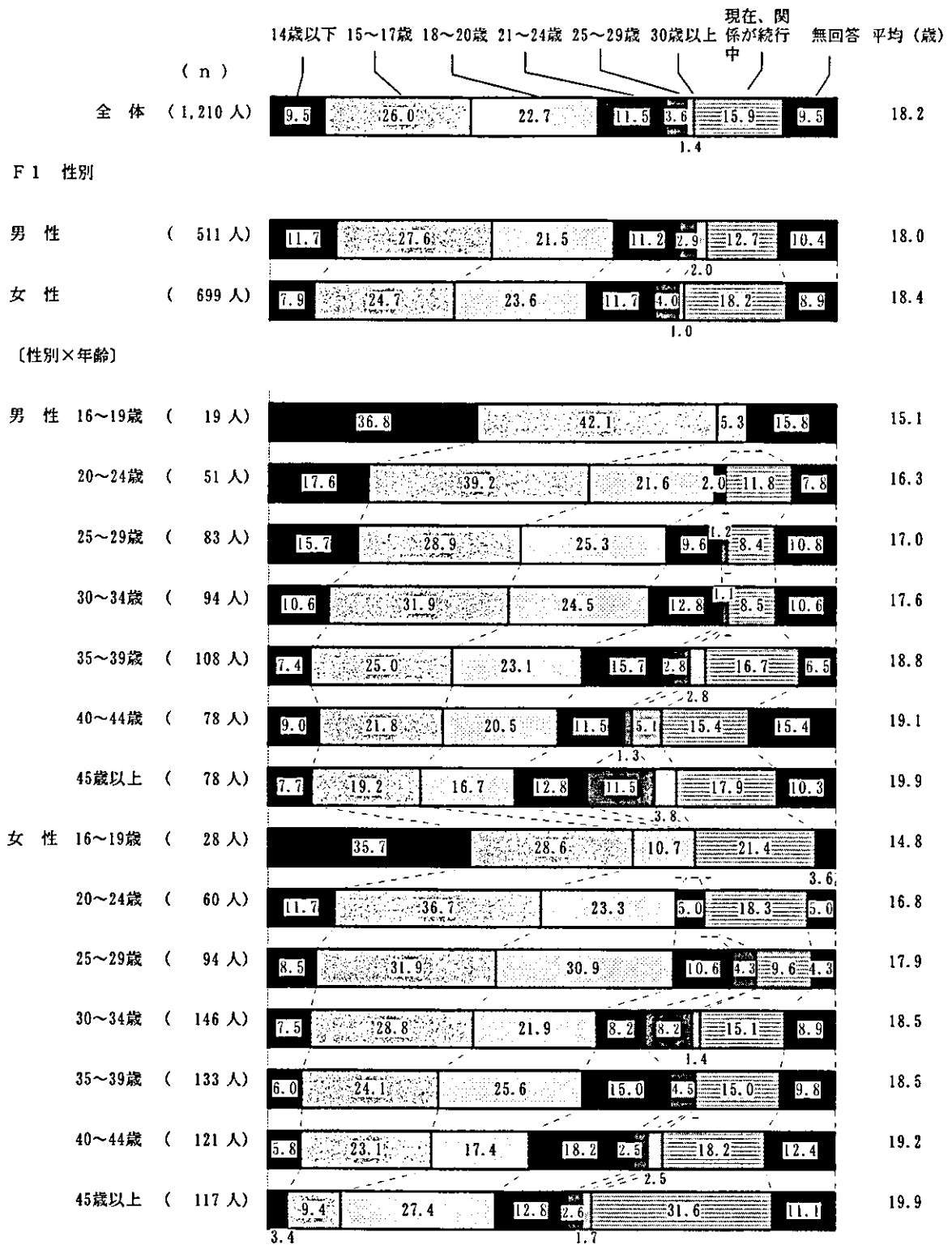
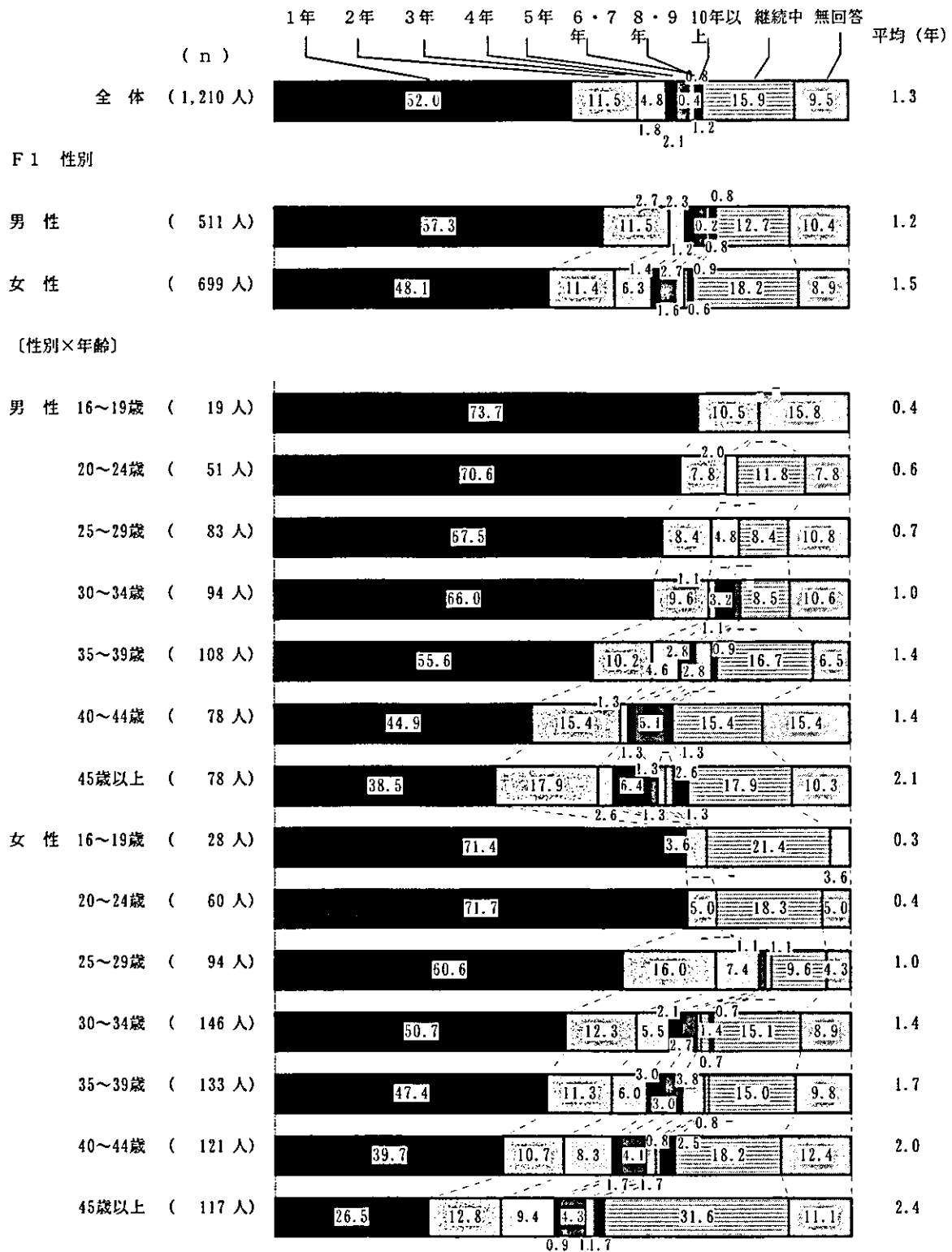
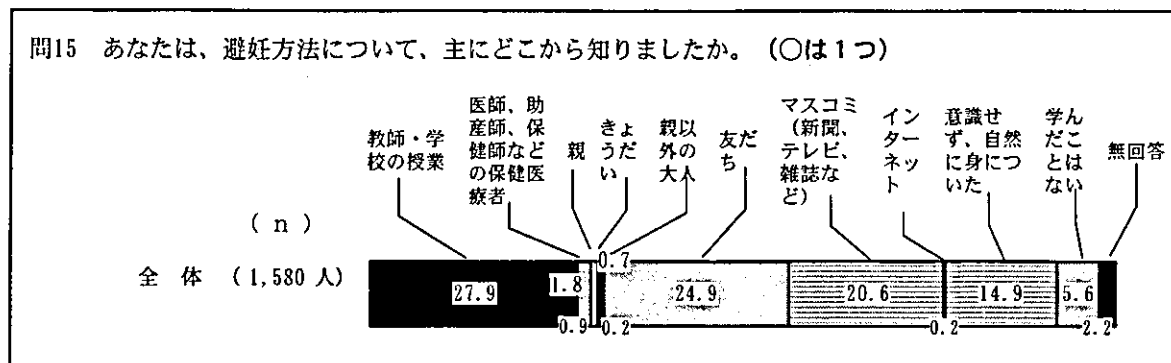


図2-2-4 初めての関係が続いた期間（性別、性・年齢別）



第3章 性の意識や知識について

1 避妊方法の主な情報源



避妊方法についての主な情報源としては、「教師・学校の授業」(27.9%)であるという者が3割弱で最も多く、次いで「友だち」(24.9%)、「マスコミ(新聞、テレビ、雑誌など)」(20.6%)という者も2割台が続いている。

「意識せず、自然に身についた」という者は14.9%、避妊方法について「学んだことはない」という者は5.6%である。

性別にみると(図3-1-1)、「教師・学校の授業」(男性23.6%、女性31.2%)という者は男性より女性に、「友だち」(同30.0%、21.0%)という者は女性より男性に、それぞれ多くなっている。

性・年齢別にみると(図3-1-1)、「教師・学校の授業」から避妊法を知ったという者は、男女とも若年層ほど、「マスコミ」は男女とも年齢が高いほど、それぞれ多くなる傾向がある。また、「友だち」から知ったという者は、男性の30歳以上で3割以上となっている。